

学科 学年	S2	科目 分類	保健体育 Physical Education	実技 必修	H19 前期+ 集中 2履修 単位	学習教育 目標 E	担当	白根 弘也 SIRANE Hiroya
概 要	生涯にわたるスポーツライフを営んでいく上で、新しい運動を自分で習得したり、集団で運動を楽しむということは重要なファクターとなる。本授業においては、バレーボールとサッカーの授業を用いて、スポーツにおける基礎技能の獲得や基本的な戦術を学習していくにより、集団で運動を楽しむ方法を理解していく。また、運動実施上の安全に関する知識を学習する。							
科目目標 (到達目標)	バレーボールでは、3段攻撃を中心としたゲームの展開ができるようにする。サッカーでは基本的な技能を中心としたゲームにより戦術的な理解を深める							
教科書・器材等	テキストは特に使用しないが、必要に応じて資料を配付する。							
評価の基準と 方法	実技試験の成績（到達度）を60%、授業への参加率、参加態度、仲間との協力状況を40%として評価する。60点以上を合格とする。							
関連科目								
授業計画								
	参観	(授業は原則として教員が自由に参加できますが、参観欄に×印がある回は参観できません。)						
第1回	×	ガイダンス						
第2回		バレーボール 1. 現状技能の把握						
第3回		2. 現状技能の把握						
第4回		3. 基礎技能の練習 (パス)						
第5回		4. 基礎技能の練習 (スパイク)						
第6回		5. 基礎技能の練習 (サーブとレシーブ)						
第7回		6. 応用技能の練習 (サーブカット&スパイク)						
第8回		7. 応用技能の練習 (サーブカット&スパイク)						
第9回		8. 応用技能の練習 (サーブ&トス)						
第10回		9. 応用技能の練習 (3段攻撃)						
第11回		10. ゲーム形式での総合練習						
第12回		11. ゲーム形式での総合練習						
第13回		12. ゲーム形式での総合練習						
第14回		現代社会と健康 (講義)						
第15回		生涯を通じる健康 (講義)						
第16回		* 16回～30回の後期分は集中授業にて行う。 この集中授業では、リフティング、パス、シュートなどのボールコントロールやミニゲームなどを通じたサッカーの基本的戦術が学習される。						
第17回								
第18回								
第19回								
第20回								
第21回								
第22回								
第23回								
第24回								
第25回								
第26回								
第27回								
第28回								
第29回								
第30回								
オフィスアワー	放課後に、質問等に対応することができる。							
授業アンケートへの対応	授業内容の改善をすることにより対応する。							
備 考								
更新履歴	070131 新規							